

項目	内容
求人件名	東北大学医学部放射線生物学分野 助教公募
機関名	東北大学
機関又は部署URL	http://www.radbio.med.tohoku.ac.jp/
部署名	東北大学大学院医学系研究科 放射線生物学分野
機関種別	国立大学
求人内容	<p>[専門分野] 癌幹細胞の放射線抵抗性(DNA2重鎖切断修復能の亢進)の原因解明のために、間葉系幹細胞やiPS細胞を用いて幹細胞性が放射線感受性/DNA修復に及ぼす影響に関する研究を行なっています。現在は、間葉系幹細胞を初期化し、多能性幹細胞に変化させるための研究を行っており、多能性とは何かを解明したいと考えています。今回の公募では、幹細胞研究を行える優れた意欲と熱意のある方を求めています。</p> <p>[採用方針] 研究室の研究テーマに沿った研究を実施していただける方であれば、医学部出身者はもとより出身学部を問いません。幹細胞研究の背景がある方に加えて、今後これらの分野に新たに取り組もうとする方も歓迎いたします。また、幹細胞研究に興味のある放射線生物学研究者も同様に歓迎です。</p> <p>[仕事内容(業務内容、担当科目等)] (1)細胞・分子生物学による実験・研究 (2)実習・講義(放射線生物学)、研究 (放射線生物学・多能性幹細胞)</p> <p>[勤務地住所等] 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1</p> <p>[募集人員] 助教 1名</p> <p>[着任時期] 2022年1月1日以降のできるだけ早い時期</p>
研究分野	大分類:医歯薬学 小分類:すべて 大分類:生物学 小分類:すべて 大分類:総合生物学 小分類:すべて 大分類:農学 小分類:すべて
職種	助教
勤務形態	常勤(任期あり) 任期5年(再任は可)
勤務地	東北-宮城県
応募資格	① 博士の学位を有する方(2022年3月取得予定を含む) ② 多能性幹細胞の研究歴をお持ちの方、あるいは放射線生物学の研究歴をお持ちの方 ③ 放射線に関する教育に熱意を持っている方

待遇	<p>[給与等]</p> <p>① 給与: 本学給与規程等によります。 ② 通勤手当: 本学給与規程に基づき支給します。 ③ 社会保険: 文部科学省共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険</p> <p>[勤務時間等]</p> <p>① 勤務時間: 裁量労働制 ② 休日: 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日) ③ 有給休暇等: 採用日に応じた日数が付与される。その他特別休暇有。</p>
募集期間	<p>開始日: 2021年11月10日～ 終了日: 2021年12月24日 必着 コメント: 適任者が決まり次第、募集を締め切ります。</p>
応募・選考・結果通知・連絡先	<p>[応募方法]</p> <p>① 履歴書 (E メールアドレス記載、写真貼付必須) ・大学卒業以後の学歴を記載し、博士学位については、取得年月と博士学位名および授与機関を記載してください。 ・職歴すべてを記入し、期間、職名、職階等についても記載してください。 ・所属している学会を記載してください。 ・本人の署名または記名押印をしてください。 ・問合せを行う際の電話番号およびメールアドレスを記載してください。</p> <p>② 研究・教育業績 ・著書、論文、学会発表(国際学会、招待講演等)、特許等の区分をして明示してください。 ・教育歴については大学・学部・学科、担当科目名称、期間等を記載してください。</p> <p>③ 研究の概要等を記載した書類 ・現在までの研究内容の説明および本学部において研究・教育を希望する理由(1,000字程度)を記載してください。</p> <p>④ 科研費等の研究補助金の取得状況を記載した書類(書式自由) ※応募書類を郵送する場合には、簡易書留としてください。 ※応募書類は返却しません。 ※封書には「助教公募応募書類」と朱書きしてください。</p> <p>[選考方法、結果通知方法] [選考方法、結果通知方法] ・書類選考の上、面接を行います。面接の日時については後日連絡します。 ・面接に伴う交通費等は自己負担とします。 ・応募書類等の返却は致しません。 ・応募書類は本選考のみに使用し、選考終了後は責任をもって破棄致します。 ・選考結果は郵送にてお知らせ致します。</p> <p>[書類提出先・問合せ先] 東北大学大学院医学系研究科 放射線生物学分野 細井 義夫 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1 電話: 022-717-8132 E-mail: hosoi[at] med.tohoku.ac.jp ([at]を@に変えて下さい)</p>
電子応募	不可
備考	<p>・東北大学は共同参画を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎しています。 ・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園(定員30名)、青葉山みどり保育園(定員116名)および、星陵地区の方が利用できる星の子保育園(定員120名)があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。 ・その他、本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記URLをご覧ください。 男女共同参画推進センターWEBページ http://tumug.tohoku.ac.jp/</p>